

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

栃木県 茂木町

自治体名： 栃木県茂木町

担当課名： 生涯学習課

電話番号： 0285-63-1137

1.自治体の基本情報

基本情報	
面積	172.7 km ²
人口	10,735人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	228 人
部活動数	9 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

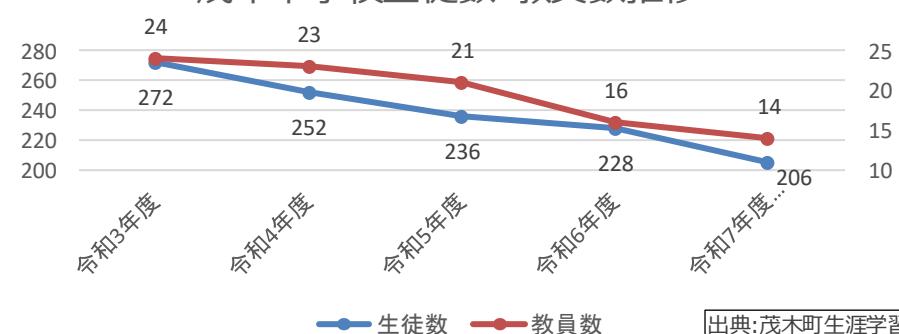
現在、当町の運動部活動は、卓球部、柔道部を含む7つの運動部、吹奏楽部、美術部の2つの文化部が活動している。

少子化に伴い、町内唯一の公立中学校である茂木中学校の生徒数は、令和3年度には272名いた生徒数も、令和6年度には228名となるなど、大幅な減少傾向となっている。そのため、部活動を維持していくことが困難となってきた。

さらに生徒数の減少に伴い、教員数も減少することとなり、令和3年度から令和6年度にかけて8名の減となっており、令和7年度についてはさらに2名減となる予定である。部活動の顧問として教員は掛け持ちまたは副顧問なしの1名での指導を強いられる状況となり、業務量や安全性の観点から教員の負担は今後大きくなることが予想される。

これらのことから、茂木町では早急に部活動を地域に移行することを検討していくこととし、令和5年度から立ち上げた、茂木町部活動検討委員会を通して行政、学校、スポーツクラブとの連携を図りながら、地域移行についての協議を行いつつ、令和6年度は実証事業に取り組み、効果や課題を検証することとした。

茂木中学校生徒数・教員数推移



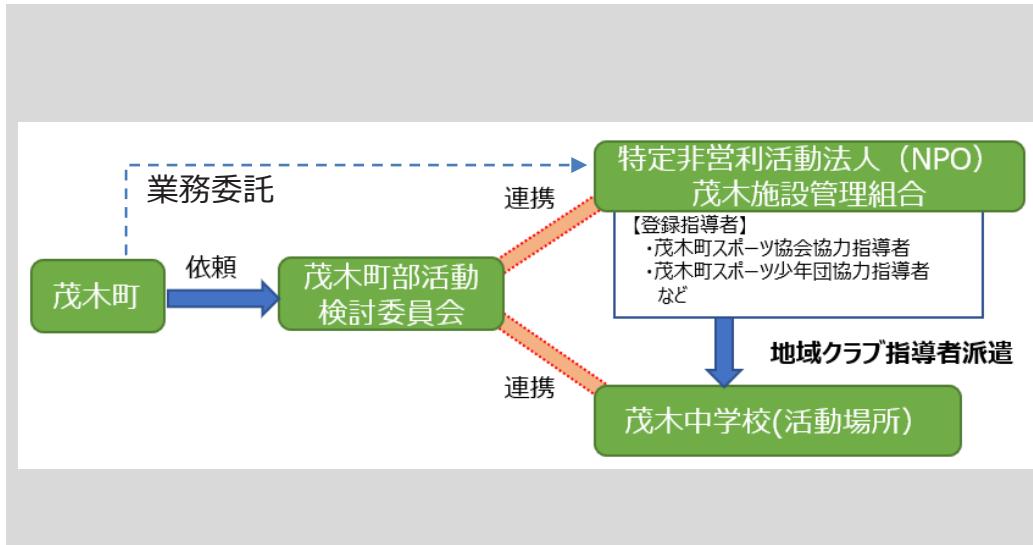
年度	生徒数	教員数
令和3年度	272	24
令和4年度	252	23
令和5年度	236	21
令和6年度	228	16
令和7年度	206	14

出典:茂木町生涯学習課

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



年間の事業スケジュール

令和6年5月	第1回部活動検討委員会開催
令和6年6月	茂木町スポーツ指導者バンク設立
令和6年7月	茂木中学校卓球部を地域移行(実証事業)
令和6年10月	茂木中学校柔道部を地域移行(実証事業)
令和6年11月	第2回部活動検討委員会開催

●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・スポーツ推進係…部活動改革の主幹、NPO・スポーツ団体・学校との調整・連携
- ・学校教育係…学校に関する事項について
- ・社会教育係…文化団体との調整、連携

◎首長部局

- ・企画課…財政予算措置

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2 クラブ（2 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	9 人	全体の運営スタッフ数	4 人

②各クラブに関すること ※下記2クラブの指導者をNPOより派遣し指導

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは 末尾に（新）を 付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
TTS	NPO法人	卓球	週1回	午前中	1年 9名 2年 16名 3年 9名 合計 34名	令和6年 7月～令 和7年1 月	茂木中学 校体育館	4人	4名 (兼務4名) ※NPO職員	なし	中体連：部 活動
茂木町柔道連盟	NPO法人	柔道	週1回	午前中	1年 5名 2年 1名 3年 3名 合計 9名	令和6年 10月～ 令和7年 1月	茂木中学 校武道館	5人	4名 (兼務4名) ※NPO職員	なし	中体連：部 活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- TTS…10月 小学6年生までを対象とした、ジュニアスポーツ体験会を実施（将来的な部員の確保へ繋げる取り組み）

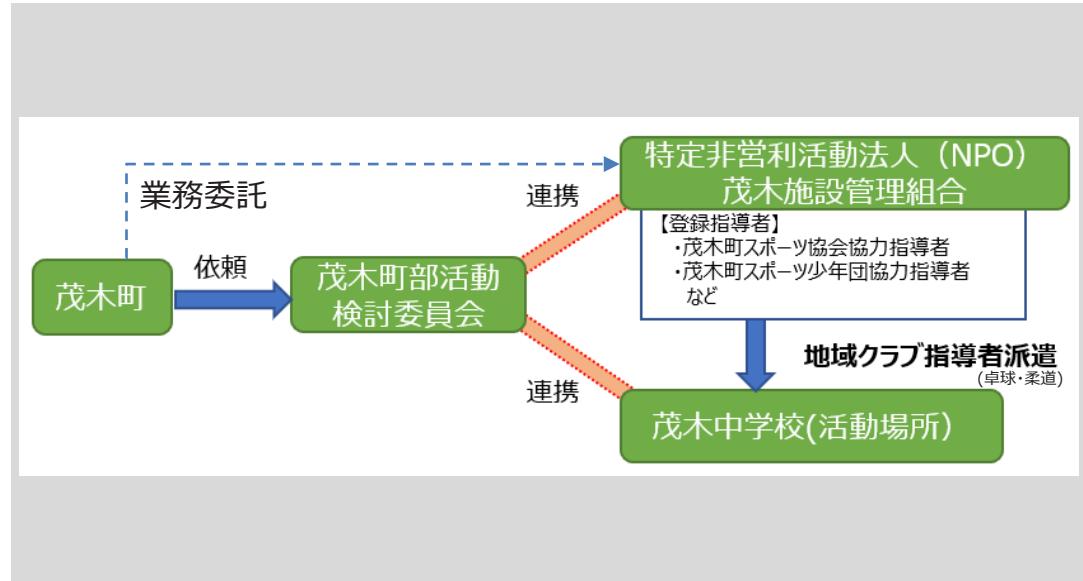
2. 実証内容と成果

●特定非営利活動法人茂木施設管理組合 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球・柔道
運営団体名 (※指導者派遣元)	特定非営利活動法人（NPO法人）
期間と日数	7月6日～1月31日 週1回程度 指導者派遣
指導者の主な属性	会社員等
活動場所	茂木中学校体育館・武道館
主な移動手段	車など
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

主な取組例

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●運営担当者 NPO職員 4名

役割：町スポーツ指導者バンクの登録管理、指導者委任、謝金支払、会計など

●指導者 町スポーツ指導者バンク登録者 9名（卓球4名、柔道5名）

役割：各活動場所での生徒への指導

▶うち 主任指導者 2名（卓球1名、柔道1名）

役割：生徒の出欠確認、NPOへの指導計画書・実績報告書の作成

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

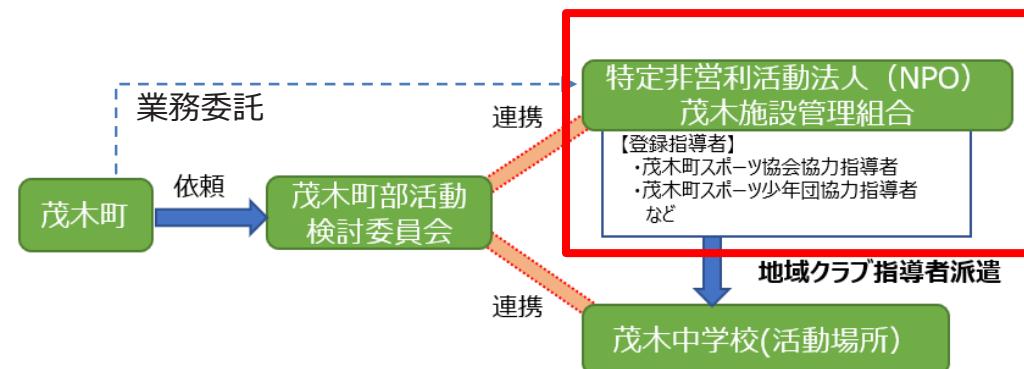
●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

部活動地域移行の運営団体として、特定非営利活動法人茂木施設管理組合（NPO）に業務委託し、指導者の派遣を行う。

取組の成果

茂木町民体育館を核とする、スポーツに特化したNPOが窓口となることで、指導者バンクへの登録から、指導計画や実績報告のやりとり、物品の管理、保険の加入および指導者の謝金の支払い等についてスポーツ指導者に対する業務の一括管理を実現することができた。また、茂木町部活動検討委員会の構成員となっているため、会議において教育委員会や、団体、学校、PTA等へ情報提供し、フィードバックのあった内容をもとに様式等を改善するなど、運営体制の強化に繋げた。



NPOの具体的な動きの実績

- ・課題等のヒアリング・助言等を実施
- ・茂木町部活動検討委員会に出席し、適宜状況報告を行った

今後の課題と対応方針

指導者と継続的に強い連携を行いつつ、今後、多くの運動部活動を地域移行していくためにも、都道府県が示した総合型地域スポーツクラブとしての創設、仕組みづくりについて検討を行っていく。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

オ：内容の充実

イ：指導者の質の保障・量の確保

カ：参加費用負担の支援等

ウ：関係団体・分野との連携強化

キ：学校施設の活用等

エ：面的・広域的な取組

ク：その他の取組



●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

本町での持続可能な指導および、指導者に安心して指導いただけるようしっかりと制度構築するため、指導者人材バンクの作成や、指導者研修会を開催する。

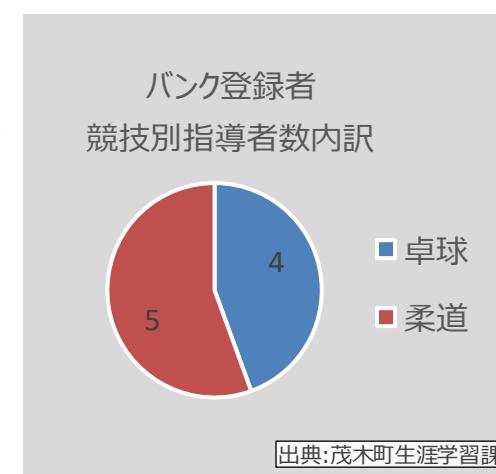
町人材バンクの名称

茂木町スポーツ指導者バンク

人材バンクの人数	登録者属性	種目	資格有無
9名	<ul style="list-style-type: none">●性別<ul style="list-style-type: none">・男性 7名・女性 2名●スポーツ歴<ul style="list-style-type: none">・10年未満 3名・10～39年 4名・40年以上 2名	<ul style="list-style-type: none">・卓球・柔道	<ul style="list-style-type: none">・全日本柔道連盟公認指導者Cライセンス・JSPOスタートコーチなど
人材バンクの年齢構成			
20代 1名 30代 1名 40代 4名 50代 3名			

取組の成果

- ・町独自の「茂木町スポーツ指導者バンク」を立ち上げた。
- ・バンクの登録については、設置要綱を設置し、登録に必要な要件を明確にわからるようにした。
- ・指導者を卓球で4名、柔道で5名確保した。
- ・登録者にNPOより、部活動の地域移行における指導者派遣の委任状の発出、同意書の受理をし、指導いただいた。
- ・卓球指導者に対して、県の指導者研修会(WEB会議システム)へ共有し、2名の参加があった。



今後の課題と対応方針

- ・スムーズな移行や、質の高い指導が可能になった一方、指導者は有職者の方も多いため、指導ができない日程もあった。
- ・指導者バンクについて広報部局と連携し、ホームページ等を活用するなど、様々な手段でPRを行い、他種目を含め、より多くの人材を確保できるよう努めていくことを検討する。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

(栃木県教育委員会健康体育課主催) 運動部活動指導者研修会
・対象：学校部活動顧問、部活動指導員、地域スポーツクラブ指導者
・目的：運動部活動及び地域クラブ活動の適正な運営に向け、指導力向上研修会を開催し、指導者が生徒の発達段階や競技レベルに応じた、安全な指導法を身につけられるよう、指導力向上を図る。

また、競技経験や指導経験を有さない顧問教員が、基本的な知識を習得し、安全に運動部活動や地域スポーツクラブ活動の指導ができるようになる。

※県要項より抜粋

受講者の声

参加したクラブ指導者の声

「法律に違反しないことはもとより、倫理的・道徳的、社会通念的な観点を含め、総合的な判断を行うことで、より良い指導に繋がることを理解することができた」

「事例を用いた解説がわかりやすく、早速指導の現場で活用することができる内容で、非常に参考になった」

指導者研修の参加実績

- ・開催日： 7月 13日
- ・開催回数： 1回
- ・参加人数： 2人 (WEB会議システムでの参加)

今後の課題と対応方針

県と連携を強化し、指導方法や資格等に係る指導者研修会の参加について今後も推進していく。

また、来年度以降、地域の実情に合致する内容を提供できるよう、町単独または郡単位での指導者研修会の開催を検討していきたい。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

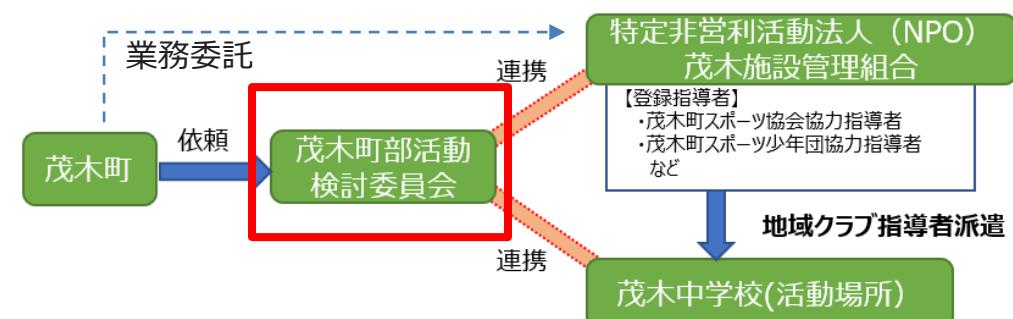
●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

茂木町部活動検討委員会を通して情報交換を行い、関係団体に所属する有識者との連携強化に取り組む。

取組の成果

- ・町での取り組みのスケジュール等の共有を行った。実証事業開始前に保護者への説明を行うことや、その時期の設定など、この会議内で有識者や学校との連携を図ることで、スムーズに調整することが可能となった。
- ・学校からは部活動の現状について、生徒の入部状況や顧問数の減少予定など、学校が抱える問題を報告いただき、その解決に向けて各委員の様々な視点から意見を募ることができた。



茂木町部活動検討委員会 構成

- 茂木町スポーツ協会
- 茂木町スポーツ少年団
- 茂木町スポーツ推進委員会
- 茂木町文化協会
- 町内小中学校
- 茂木中学校PTA
- 特定非営利活動法人茂木施設管理組合
- 茂木町教育委員会

令和6年度の開催実績

- 令和6年5月
第1回部活動検討委員会開催
- 令和6年11月
第2回部活動検討委員会開催

今後の課題と対応方針

令和6年度に行なった実証事業を通して出てきた地域クラブ活動での課題を、部活動検討委員会を通して有識者へ報告し、その解決策やより良い運営体制について現場にフィードバックできるよう検討していくこととした。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

工：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 工：面的・広域的な取組

取組事項

栃木県教育委員会、芳賀郡に位置する各市町との情報交換を行い、連携強化を図っていく。

芳賀郡市町一覧

真岡市

芳賀町

市貝町

益子町

茂木町

出席した会議・研修会（芳賀郡）

- ・令和6年5月
「第1回部活動の在り方に関する方針 改定会議」
- ・令和6年10月
「部活動の地域連携・地域移行に関する情報交換会」
- ・令和7年2月(予定)
「部活動地域移行他市町事例研修会(WEB)」

出席した会議・研修会（県）

- ・令和6年7月
「部活動地域移行連携・地域移行市町担当者会議」
- 「運動部活動指導者研修会(WEB)」
- ・令和6年9月
「部活動の地域連携・地域移行に係る個別相談会」

取組の成果

- ・郡内市町と連携を図ることで、近隣の市町の現状等をお互いで共有し、各市町の学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針の策定に繋げることができた。
- ・県との連携を図ることで、県に所属する総括コーディネーターからの助言を活用し、本町における地域クラブ活動の適切なスケジュール感を再確認することができた。
- また、各研修会を通して、適切な指導方法や、先進的に取り組んでいる自治体における成功事例や課題等について理解し、本町の地域クラブ活動の能率的な運営の検討に繋がった。

今後の課題と対応方針

今後も継続的に県、郡内市町と連携を強化し、情報共有を行うほか、郡内市町においては連携事業の展開ができるか検討を行っていく。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面向的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

部活動で行う基本的な内容は踏襲しつつ、クラブ指導者の専門的な指導を行うことにより、所属生徒のスキルアップを図る。

取組の成果

- 子どもたちへの指導実績のあるTTSの指導者を派遣することで、学校部活動からスムーズに移行を実現した。
- 全日本柔道連盟公認指導者Cライセンス等の資格を有する、茂木町柔道連盟の指導者を派遣することで、質の高い指導を可能とした。

今後の課題と対応方針

今後も過去に指導経験のある方や、指導資格所持者に対し、指導者バンク登録を積極的に促すほか、指導者研修等を実施し、他部活動においてもスムーズな移行ができるよう仕組みづくりを検討していく。

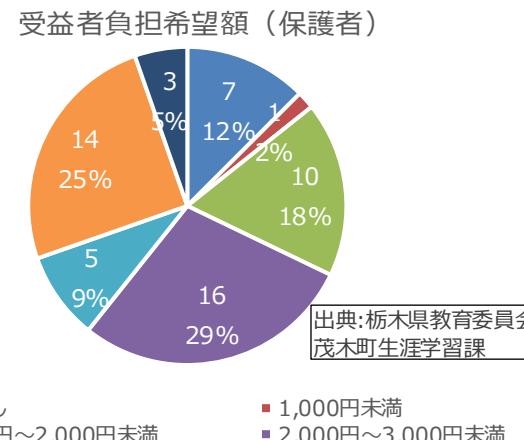
●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

費用負担について、今後受益者負担が必要となった場合について、アンケート等を実施し、適切な金額の検討を行う。

取組の成果・今後の対応方針

- 茂木中学校保護者へのアンケートを実施し、2,000～3000円未満と回答した保護者が29%と最も多かった。負担なしと回答した保護者も12%いるため、今後、町部活動検討委員会等を通して慎重に検討を重ねていく。



●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

地域移行を行うにあたり、茂木中学校施設等を有効活用することで、活動をスムーズに移行する。

取組の成果

- 茂木中学校体育館、武道館を活用することで、学校部活動からのスムーズな移行を実現した。卓球台等の既存の設備についても活用を行った。



今後の課題と対応方針

現状だと活動場所には限りがあるため、複数の選択肢を用意することが望ましい。茂木町民体育館等、町の公共施設等を活用できるよう、今後整備を検討していく。

2. 実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

● 総括

- ・茂木中学校の生徒数、教職員数が急激に減少する中、「卓球」「柔道」の部活動2種目について、令和6年7月以降に地域移行の実証事業を行った。
- ・地域移行するにあたり、茂木町スポーツ指導者バンクを立ち上げ、町内卓球クラブ(TTS)、町柔道連盟所属の指導者に登録いただき、町の委託先である特定非営利活動法人茂木施設管理組合(NPO)より委任した。
- ・茂木町部活動検討委員会を定期的に開催し、教育委員会、学校、スポーツ団体、PTA等の有識者と情報交換し、連携を深めながら課題や今後の方針について検討した。
- ・県や郡内市町と会議や研修会を適宜開催し、情報交換を行い、適切な部活動の地域移行の在り方について検討した。

● 成果の評価

- ・町独自でスポーツ指導者バンクの登録制度を構築したこと、登録から指導者派遣までの流れをスムーズに行うことが可能になったほか、より地域に根付いた指導者の把握することが可能となり、地域コミュニティの創出にも繋がった。
- ・過去に指導経験のある方や、有資格者を派遣することで、生徒が大きく負担や違和感を感じることなく部活動から地域クラブ活動へ移行することが可能であったほか、専門的な知識や技などを指導することにより、参加生徒のスキルアップに繋げることができた。
- 一方で、今回の実証事業を通じ、毎週確実な指導が難しい状況であったため、指導可能なバンク登録者をより多く確保することが望ましい。
- ・町内の有識者や、県、郡内市町担当者との連携を図ることで、事例を通した仕組みづくりや、様々な観点からの意見を踏まえた指導者派遣制度（指導の流れ）の構築に繋げることができた。

● 今後に向けて

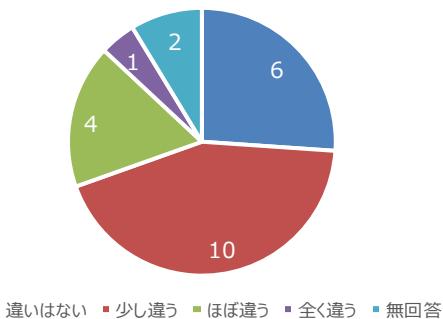
- 今回実証した2種目について、令和7年度は初年度から指導を行うことで、年間を通しての課題や問題点の洗い出しを行うことを目指したい。
- また、より多くの指導者のバンク登録者の確保を目指し、他種目についても地域クラブでの指導に繋げることができないか検討していきたい。

2. 実証内容と成果②

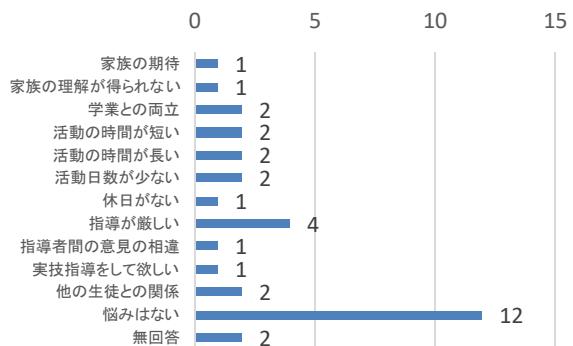
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

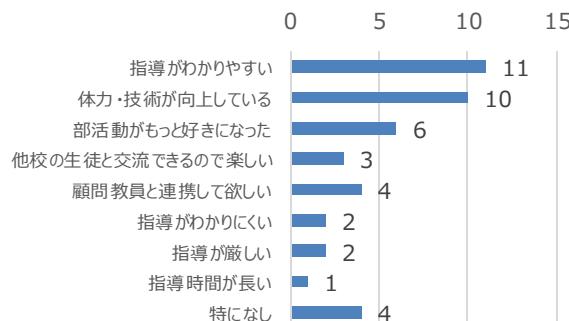
Q.学校で行う活動と、地域で行う活動に違いはありましたか。(1つ選択)



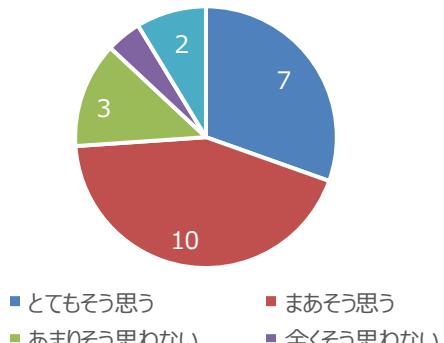
Q.休日の地域クラブ活動に参加して困ったことや悩みはありますか。(複数回答可)



Q.地域クラブ活動に参加して、どのように感じていますか。(いくつでも選択可)



Q.次年度も休日の地域クラブ活動に参加したいと思いますか。(1つ選択)



出典: 栃木県教育委員会 令和6年度 休日の地域クラブ活動に関するアンケート
母数: 茂木中学校生徒 (卓球部・柔道部) 23名

●参加者の声

中学1年生

学校部活動とは違った練習メニューでの指導を受けられて、とてもいい経験になった

中学2年生

部活動と同じ体育館で指導してもらえたのがよかったです。先生の指導はわかりやすく、もっとレベルの高い技を教えてほしい

指導者

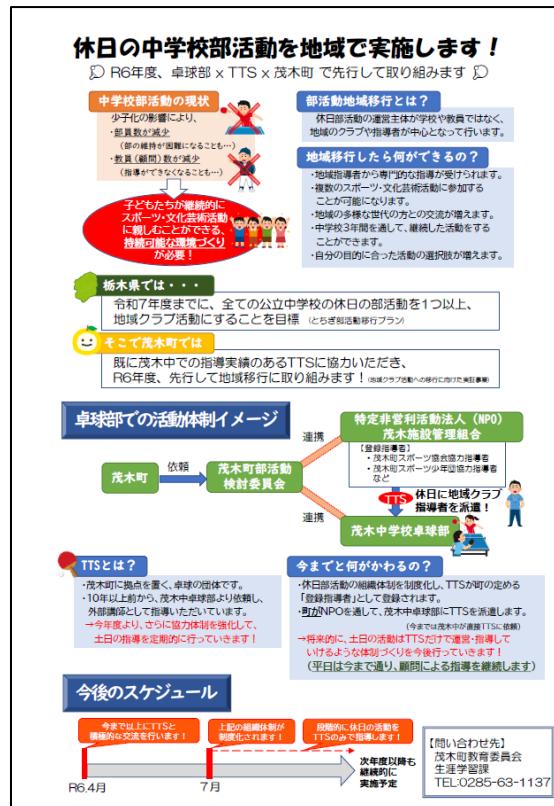
練習方針が平日の顧問の指導と異なることがないよう、学校との連携は必要だと思う。

2. 実証内容と成果③

広報資料

7月、部活動地域移行の実証事業が開始となる前に、中学校保護者宛に通知を発行した。

また、対象となる卓球部・柔道部の保護者宛に図やイラストを用いたリーフレットを制作し、仕組みやスケジュールについて伝えた。



【卓球部・柔道部保護者への啓発リーフレット】

出典: 茂木町生涯学習課

2. 実証内容と成果④

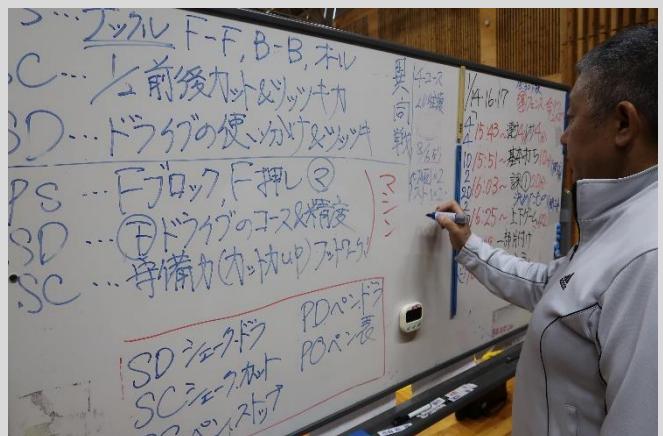
参考資料（活動写真）



【集合（朝礼）】



【フォームについて指導】



【練習メニュー等の作成】



【平日部活動顧問と、休日の指導方針について情報共有】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

茂木町部活動
検討委員会
設置

小中学生・保
護者・中学教
諭へのアンケー
ト実施

令和6年

卓球・柔道部で地
域クラブ活動(実
証事業)実施する
方針決定

特定非営利活動法
人茂木施設管理組
合へ業務委託

茂木町スポーツ
指導者バンクの
設立

卓球・柔道2種目
で地域クラブ活動
(実証事業)開始

●ステークホルダー

茂木町スポーツ協会、茂木町スポーツ少年団
茂木町スポーツ推進委員会、茂木町文化協会、町内小中学校、
茂木中学校PTA、特定非営利活動法人茂木施設管理組合、
茂木町教育委員会

●経過

令和5年度より茂木町部活動検討委員会を設置し、茂木中学校の部活動を地域移行するための検討を行った。中学校の生徒や教員数が急激に減少していることや、栃木県より令和7年度までに、全ての公立中学校休日部活動を 1つ以上、地域クラブ活動にすることを目標とする「とちぎ部活動移行プラン」が示されたこともあり、令和6年度より地域クラブ活動の実証事業を行うこととなった。

●実施内容

茂木町スポーツ指導者バンクを立ち上げ、その管理および指導者の派遣、報酬の支払い等については、特定非営利活動法人茂木施設管理組合に委託した。練習については基本的に週1回、中学校の体育館・武道館へ指導者を派遣する形で行った。

記載例»»

●実施にあたって生じた課題

茂木町は令和2年現在で高齢化率が42.70%と高い水準のため、指導可能な方が非常に少ない。また、指導可能な年代の方も有職者が殆どそのため、負担が大きいことが挙げられた。

●工夫した点

町内でも中学生に対して指導実績のある「TTS(卓球)」「茂木町柔道連盟(柔道)」所属の指導者に委任する形で実証事業を行ったため、運動部活動から地域クラブ活動へのスムーズな移行が可能となった。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ^①

